

避難って何だろう？

あなたは「避難」と聞けば、どういう行動のことを思い浮かべるのでしょうか？どうも『避難=逃げる』と思う人は多いようです。

一般的に「避難」の意味を、実際のところ知っているようで知らないのではないのでしょうか？「避難」を広辞苑で調べると『**災害を避けること・災害を避けて他の所にのがれること**』と

記されています。手っ取り早く考えれば「**災害を避ければよい**」のだろう。じゃあ、どのような災害が襲ってくるのかを考えなければなりません。これまた難しいものです。人それぞれおかれた環境が違うし、周囲の状況も違う。すぐに答えは出せないものです。

東京大学大学院の片田敏孝教授は、次の様に仰る。

『**正常化の偏見**』という言葉があります。危険が迫っても『**自分は大丈夫**』と考えてしまうのです。例えば、災害経験のない人に、大きな地震が起きた後の行動をイメージしてもらおうと、まず机の下に隠れ、次いで避難場所へ移動し、さらには救助活動をしたりと考えます。が、自分が瓦礫の下にいて救助される側になることは、あまりイメージしません。「正常化の偏見」の例は他にもいろいろある。例えば、同じ確率を示しても、それが「**交通事故で死ぬ確率**」についての数字なら「**自分はない**」と認識し、「**宝クジに当たる確率**」であれば「**ある**」と思ってしまう。また、津波警報に接しても、最初の警報だけでは動き出さない。同じことを意味する2つ目の情報が入らないと動こうとしない。これも同じく「**正常化の偏見**」だ。

「**避難しなかった人は、避難しない意思決定をしているわけではない。避難する意思決定をしていないだけ。結果的に、避難していない事実が残る。同様に、『セキュリティ対策をしない』と意思決定しているわけではない。『セキュリティ対策をする』という意思決定をしていないだけ。最後の一步を踏み出せなかったのです。こうした性質を踏まえた上でどうするか、それが津波防災の課題といえるでしょう」と。**

キーワードは「**意志決定するかしないか**」ということ！そう考えれば、**防災活動をする意志決定をしているか**となります。これは簡単にいえば「**備えをする**」ということです。「**備え**」というモノは、備蓄することや家具の転倒防止等のモノ(物・物質)を準備し行動するのではなく、災害に備える「**心の準備(決めごと)**」をしているかどうかということです。

片田教授の話に出てきたセキュリティ対策から考えると、スマホやパソコンにコンピュータウイルス対策

をしているかどうかと同じことです。『**どこかの誰か私の知らない人や企業がやってくれて守ってくれている**』と考えていることと同じで、災害においても『**どこかの誰か私の知らない人や行政がしっかりとやってくれて守ってくれるだろう**』と考えてしまうのです。気がつけば、パソコンやスマホにウイルスが入り込みデータが抜き取られ壊される。災害ならば、命に危険が及んだだけではなく、命を奪い取られてしまうのです。だから「**あなた自身が一步踏み出すこと**」が重要です。どこかの誰かが守ってくれるなんて都合の良い話は信じてはいけません。あなたが行動を起こせば、あなたの周囲に防災の輪が広がります。水に石を投げ入れると同心円の波紋が起る。これと同じことが防災活動でも起る「**守り合い(お互い様)**」なのです。

『避難』は『避難=逃げる』だけではなく、何かが起こる前に、前もって心構えができており、何かが起これば、躊躇なく行動するということです。この心構えができていないから「**コロナ禍だから避難所に行くのは躊躇する**」と考えてしまいます。命を守る最短距離の行動が身につけていないのです。「避難」は地域や自分の置かれている状況、更には発生した災害によっても大きく異なります。なので「**心の防災訓練**」これが本当に、**重要な避難準備行動**なのです。

でも「そんなこといわれなくても、災害が起れば避難できるよ」という方もいるでしょう。しかし、普段から「心得ていないこと、心掛けていないこと」は、過去の災害時の教訓から、短時間で命を守る行動に移ることに繋がらないのが現実です。

マンションでの避難・・・あなたなら、どうしますか？誰かが「避難してください」というまで避難しないのですか？それとも、どこかに避難しなくても大丈夫だと考えられているのですか？決して煽っているわけではありません。大切なことは事前に『**考えておくこと**』これが重要なのです。適切な言葉がないのですが、皆様に強く伝える**答え**は、我々には持ち合わせていません。それくらい近年の災害は、我々の過去の教訓を越えてきています。(新型コロナもそのひとつ)

最後に「**あなたの命、あなたの大切な人の命**」は、誰も守ってくれません！『**あなたが考え、行動せねばならない**』のです。コロナ対策でも全く同じことがいえます。皆さん！災害を避けることができるのは「**助かって良かったあ**」との偶然ではなく、「**助かるのは当たり前**」と必然にしておかなければなりません。

